

たのしい
さわぎを
おこしたい

株式会社サニーサイドアップグループ

2021年6月期 第2四半期決算 補足資料

目次

・連結業績サマリー	P.3
・連結業績分析	P.7
・連結貸借対照表分析	P.10
・連結キャッシュ・フロー分析	P.11
・連結業績予想	P.12
・セグメント業績サマリー	P.13
・セグメント情報	P.15

2021年6月期 第2四半期決算補足資料 連結業績サマリー (1)



SUNNY SIDE UP
GROUP

2021年6月期第2四半期 連結業績ハイライト

(百万円)

	2020年6月期 第2四半期 (累計)	2021年6月期 第2四半期 (累計)	増減額	増減率
売上高	9,358	7,198	△2,160	△23.1%
営業利益	750	298	△452	△60.2%
経常利益	686	351	△335	△48.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	449	180	△269	△59.8%

前期末における事業環境の最悪期は脱したものの、
前年同期比では減収減益

2021年6月期 第2四半期決算補足資料 連結業績サマリー (2)



SUNNY SIDE UP
GROUP

四半期別の連結売上高の推移



2021年6月期 第2四半期決算補足資料 連結業績サマリー (3)

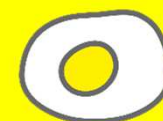


SUNNY SIDE UP
GROUP

四半期別の連結営業利益の推移



2021年6月期 第2四半期決算補足資料 連結業績サマリー (4)



SUNNY SIDE UP
GROUP

四半期別の連結業績の推移 (直近6四半期の比較)

(百万円)

	2020年6月期				2021年6月期	
	第1四半期会計期間 2019年7月から 2019年9月まで	第2四半期会計期間 2019年10月から 2019年12月まで	第3四半期会計期間 2020年1月から 2020年3月まで	第4四半期会計期間 2020年4月から 2020年6月まで	第1四半期会計期間 2020年7月から 2020年9月まで	第2四半期会計期間 2020年10月から 2020年12月まで
売上高	4,506	4,851	2,735	2,000	2,771	4,427
営業利益	408	342	△16	△313	14	283
経常利益	345	340	△51	△359	△5	357
親会社株主に帰属 する 四半期純利益	256	192	△195	△464	△15	196

新型コロナの影響を受け業績悪化

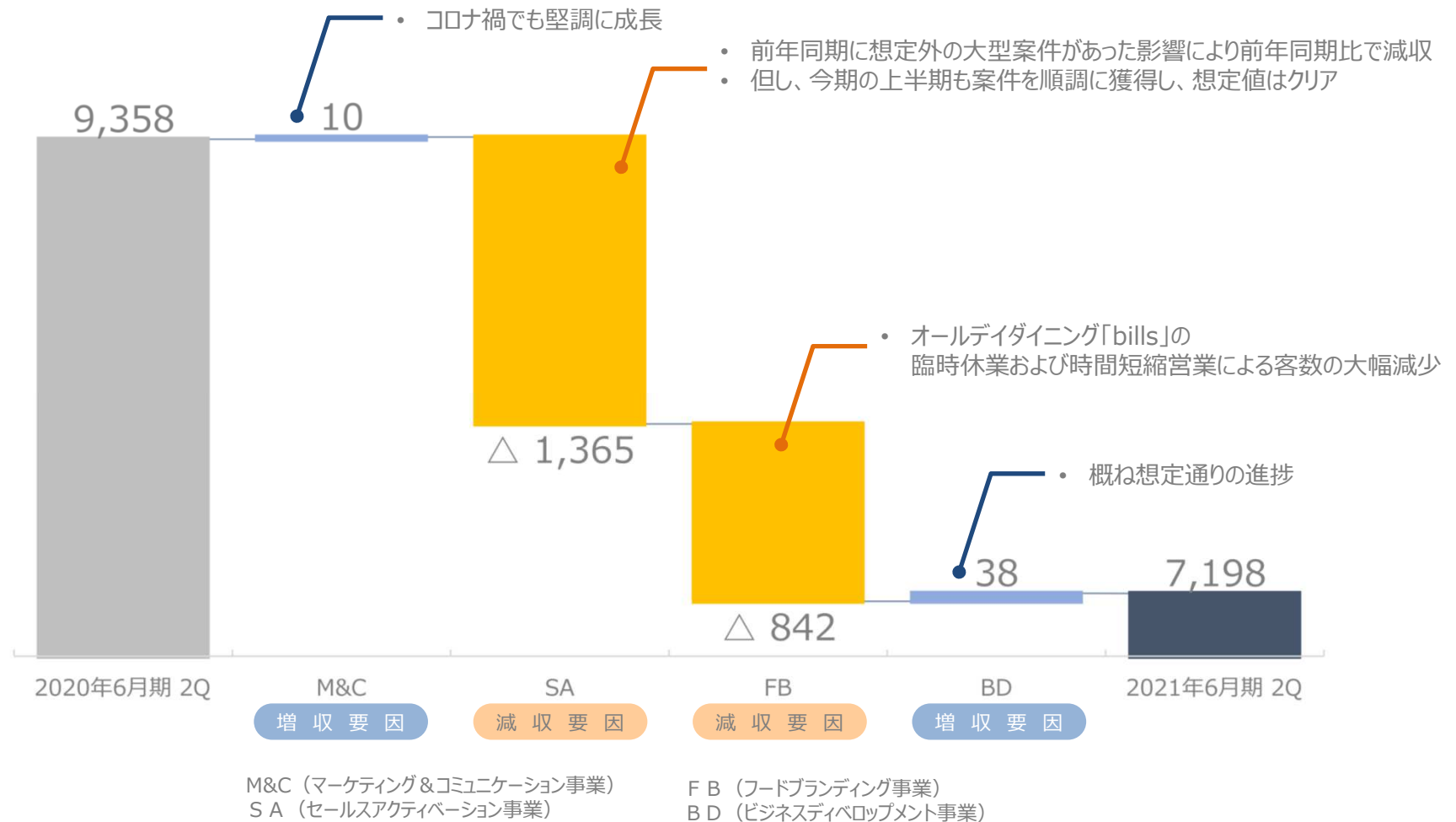
コロナ禍に順応し、業績回復中

新型コロナウイルス感染症の流行拡大により2020年6月期の下半期は業績が大きく悪化したものの、
2020年6月期の第4四半期を底に連結業績は回復中

2021年6月期 第2四半期決算補足資料 連結業績分析 (1)



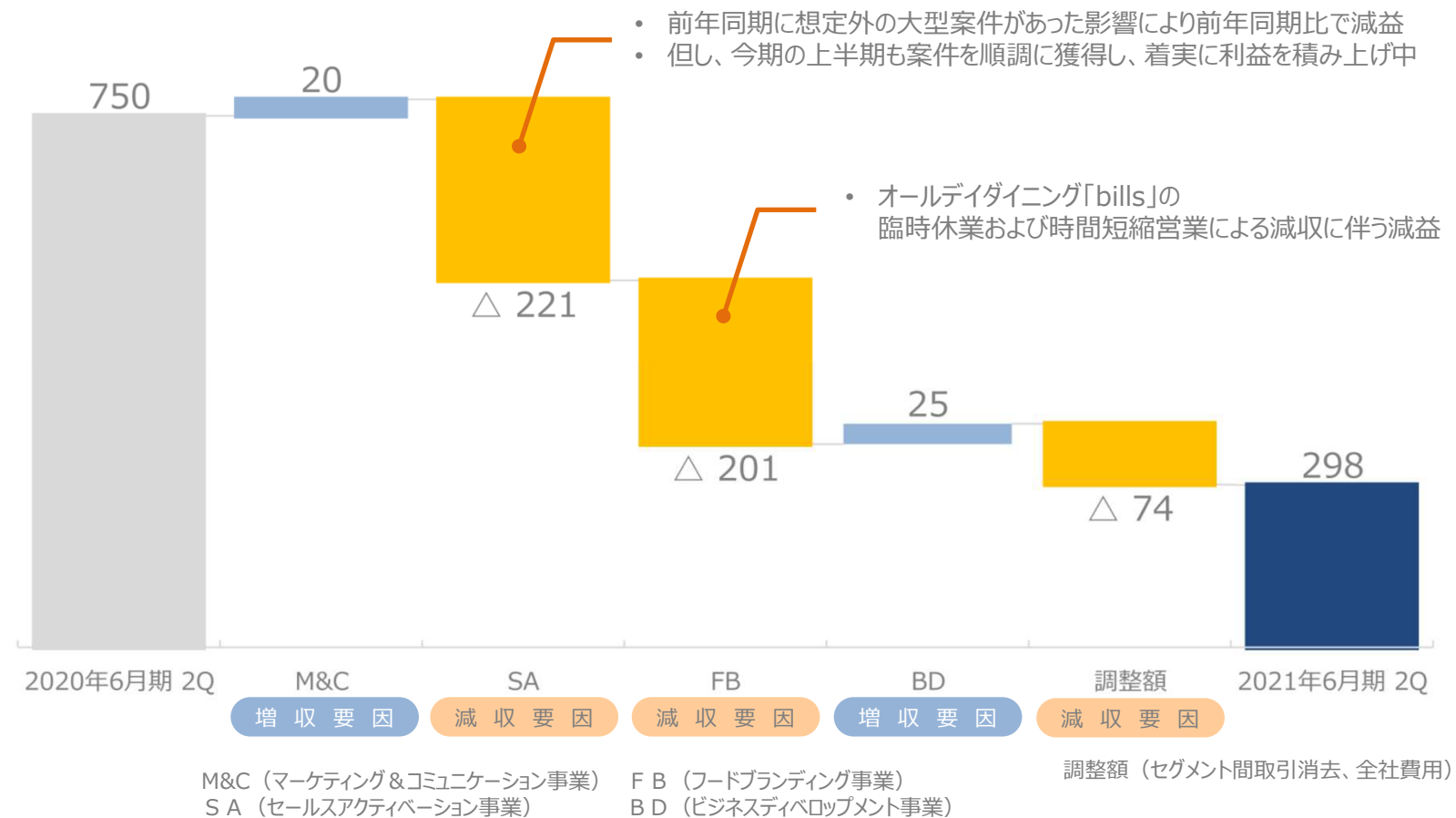
連結売上高 前年同期比△21億円の要因



2021年6月期 第2四半期決算補足資料 連結業績分析 (2)



連結営業利益 前年同期比△4.5億円の要因



2021年6月期 第2四半期決算補足資料 連結業績分析 (3)



営業外損益および特別損益の発生要因

(百万円)

	2020年6月期 第2四半期	2021年6月期 第2四半期	2021年6月期 第2四半期における 営業外損益および特別損益の発生要因
売上高	9,358	7,198	
営業利益	750	298	
営業外収益	2	101	主にフードブランディング事業に係る 新型コロナウイルス感染症に関する助成金等93百万円等
営業外費用	67	47	jingに係る組合損益分配額41百万円等
経常利益	686	351	
特別利益	0	58	新株予約権戻入益58百万円
特別損失	-	55	本社リノベーションに係る固定資産除却損 45百万円 bills 韓国2号店の店舗設備に関する減損損失 10百万円 ※ ¹
税金等調整前 四半期純利益	686	354	

※¹ 定期建物賃貸借契約期間満了に伴い、「bills」韓国2号店を閉店しました。(2021年2月12日付開示)

2021年6月期 第2四半期決算補足資料 連結貸借対照表分析



第2四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)		前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
流動資産	4,013,297	6,470,673	流動負債	1,920,727	3,978,865
現金及び預金	2,151,364	2,788,030	買掛金	738,068	1,688,410
受取手形及び売掛金	1,219,691	2,997,711	短期借入金	161,061	1,035,482
商品及び製品	14,762	6,719	1年内返済予定の長期借入金	231,724	330,595
未成業務支出金	162,960	263,807	未払法人税等	149,228	175,702
原材料及び貯蔵品	44,657	47,616	その他	640,644	748,675
その他	420,550	367,401	固定負債	1,453,736	1,714,052
貸倒引当金	△689	△613	負債合計	3,374,464	5,692,918
固定資産	1,448,863	1,432,448	株主資本合計	1,997,859	2,148,661
有形固定資産	404,503	442,798	その他の包括利益累計額合計	38,263	37,395
無形固定資産	418,038	398,497	新株予約権	51,574	24,146
投資その他の資産	626,321	591,152	純資産合計	2,087,696	2,210,203
資産合計	5,462,160	7,903,122	負債純資産合計	5,462,160	7,903,122

マーケティング&コミュニケーション事業およびセールスアクティベーション事業における案件に紐づく借入の実施により短期借入金が増加した。一方、当該案件における売掛金も増加。当社グループのビジネス上の特性から、案件発生のタイミングにより一時的なBSの膨張が生じる

2021年6月期 第2四半期決算補足資料 連結キャッシュ・フロー分析



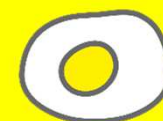
四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 2019年7月1日～12月31日	当第2四半期連結累計期間 2020年7月1日～12月31日		
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,674	△575,377	売上債権の増加額	1,777百万円
			仕入債務の増加額	950百万円
			法人税等の支払額	261百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△225,433	18,681		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,458	1,198,453	短期借入金の純増額	874百万円
			長期借入による収入	433百万円
			配当金の支払額	30百万円
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△197	△5,091		
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△162,415	636,666		
現金及び現金同等物の 期首残高	1,559,601	2,135,564		
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,397,185	2,772,230		

マーケティング & コミュニケーション事業およびセールスアクティベーション事業における案件に紐づく借入を実施。
当社グループのビジネス上発生する通常取引におけるキャッシュ・フローの変動

2021年6月期 第2四半期決算補足資料 連結業績予想



SUNNY SIDE UP
GROUP

2021年6月期 通期業績予想

(2020年7月1日～2021年6月30日)

(単位：百万円)

	2021年6月期 第1四半期 (累計)	2021年6月期 第2四半期 (累計)	2021年6月期 通期業績予想 (※ ¹)	通期業績予想 への進捗率	下期想定 (通期業績予想と 上期実績との差分)
売上高	2,771	7,198	13,000 ～13,500	55.3% ～53.3%	5,802 ～6,302
営業利益	14	298	300 ～500	99.3% ～59.6%	2 ～202
経常利益	△5	351	300 ～450	117.0% ～78.0%	△51 ～99
親会社株主に帰属 する 四半期純利益	△15	180	0 ～150	— ～120.0%	△180 ～△30

※ 2020年8月13日発表の「2020年6月期 決算短信」に記載した当初の2021年6月期の連結業績予想から変更ありません。

※ コロナ禍における当社グループ事業の下記のリスク要因を加味した上でレンジ形式での予想としております。

【リスク要因①】フードブランディング事業におけるオールデイダイニング「bills」の営業（または休業）状況への影響

【リスク要因②】主にマーケティング&コミュニケーション事業におけるグローバル案件の受注延期およびキャンセル（規模縮小を含む）による影響

今後の新型コロナウイルス感染症による当社連結業績への影響を合理的に算定することが難しいことから、現時点では通期業績予想は変更しない

2021年6月期 第2四半期決算補足資料 セグメント業績サマリー(1)



SUNNY SIDE UP
GROUP

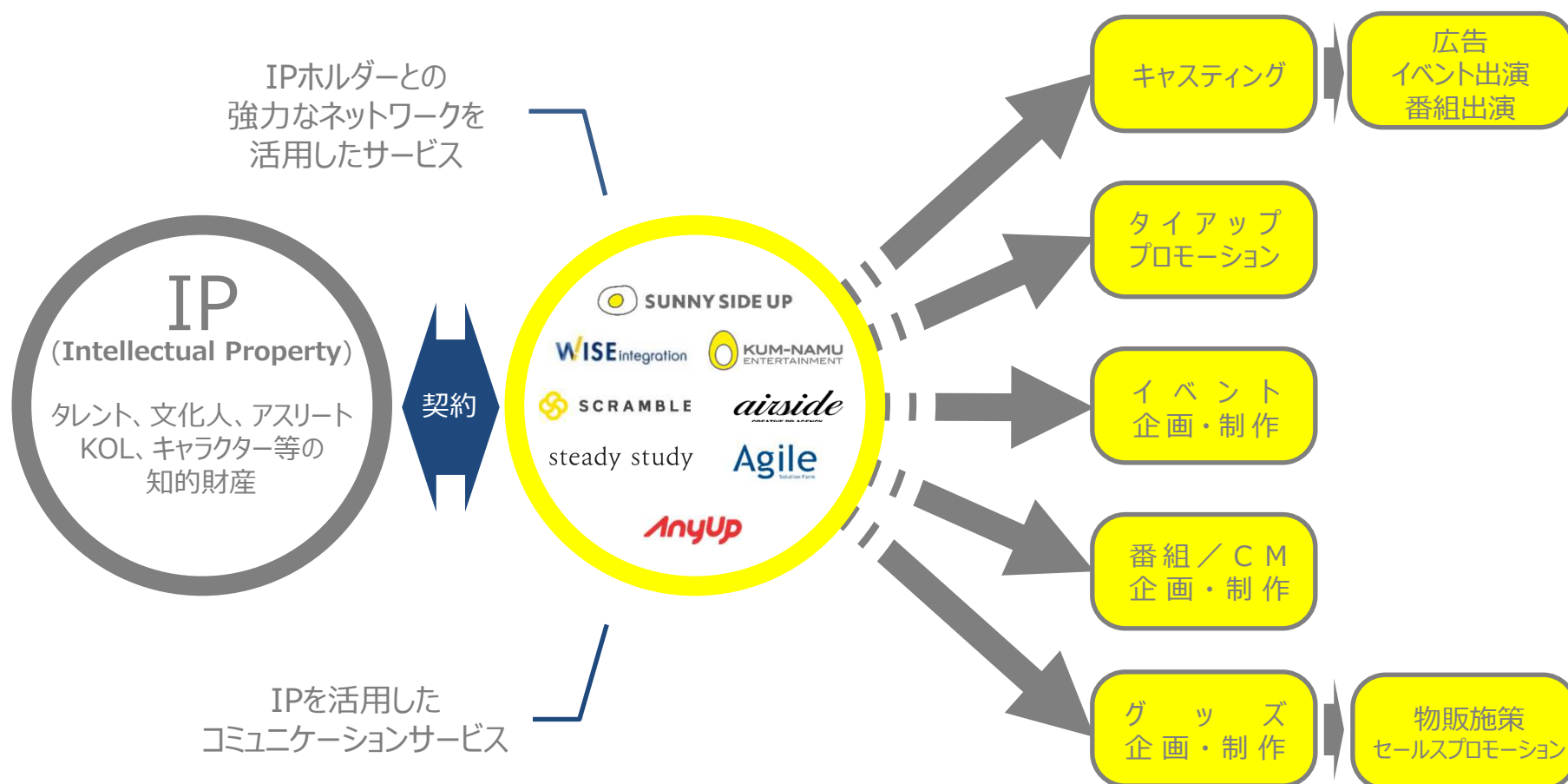
セグメント業績（四半期毎推移）

	売上高		セグメント利益	
	2021年6月期 第1四半期会計期間	2021年6月期 第2四半期会計期間	2021年6月期 第1四半期会計期間	2021年6月期 第2四半期会計期間
マーケティング&コミュニケーション事業	1,281	↑ 伸長 1,937	177	↑ 伸長 402
セールスアクティベーション事業	823	↑ 伸長 1,767	85	↑ 伸長 199
フードブランディング事業	642	684	△34	△75
ビジネスディベロップメント事業	23	49	△3	20

基幹事業のマーケティング&コミュニケーション事業
およびセールスアクティベーション事業が
第1四半期から伸長しながら連結業績を牽引

コロナ禍における業績の主要な牽引要因

タレントやキャラクター等のIP（知的財産）を活用した様々なソリューションの提供



2021年6月期 第1四半期決算補足資料

セグメント情報 (1)



2021年6月期よりセグメント区分等を変更

各セグメントにおける子会社の構成

構成子会社	旧セグメント (2020年6月期)	新セグメント (2021年6月期より)
(株)サニーサイドアップ (※ ¹ および※ ² を除きます)	マーケティング・コミュニケーション事業	マーケティング&コミュニケーション事業
(株)クムナムエンターテインメント		
(株)スクランブル		
(株)ステディスタディ		
(株)サニーサイドアップ (※ ¹ スポーツ関連部署)	スポーツ事業	セールスアクティベーション事業
(株)エアサイド	開発事業	
(株)サニーサイドアップ (※ ² コンテンツ関連部署)	マーケティング・コミュニケーション事業	セールスアクティベーション事業
(株)ワイズインテグレーション	S P・MD 事業	
(株)フライパン	bills事業	フードブランディング事業
SUNNY SIDE UP INTERNATIONAL, INC.		
bills waikiki LLC		
SUNNY SIDE UP KOREA INC		
(株)サニーサイドアップパートナーズ	開発事業	ビジネスディベロップメント事業
(株)サニーサイドアップキャリア		
(株)アジャイル		

(株)ステディスタディは、2020年3月に100%子会社化したため、2020年6月期第2四半期の連結業績には含まれません。

(株)アジャイルは、2020年7月に設立したため、2020年6月期第2四半期の連結業績には含まれません。

2021年6月期 第2四半期決算補足資料

セグメント情報 (2)



セグメント	マーケティング&コミュニケーション事業	セールス アクティベーション事業	フードブランディング 事業	ビジネス ディベロップメント事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> PRを軸とした各種コミュニケーションサービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> 店頭における購買・契約促進のための戦略施策の提供 IP（タレントやキャラクター等の知的財産）を活用したセールスプロモーションおよび物販施策 	<ul style="list-style-type: none"> 『bills』のブランディングおよびライセンス 『bills』の海外店舗のプロデュース、ブランディングおよび運営 	<ul style="list-style-type: none"> 既存の労働集約型・受託型のビジネス領域に留まらない新規事業の開発推進
構成 子会社	 	 	 	
持分法 適用会社	 			 ※ ¹

※¹(株)ENGAWAについては、株式追加取得による一時的な子会社化を実施した後に、AnyMind Group社に全株売却しております。(2021年1月22日付開示事項)

2021年6月期 第2四半期決算補足資料

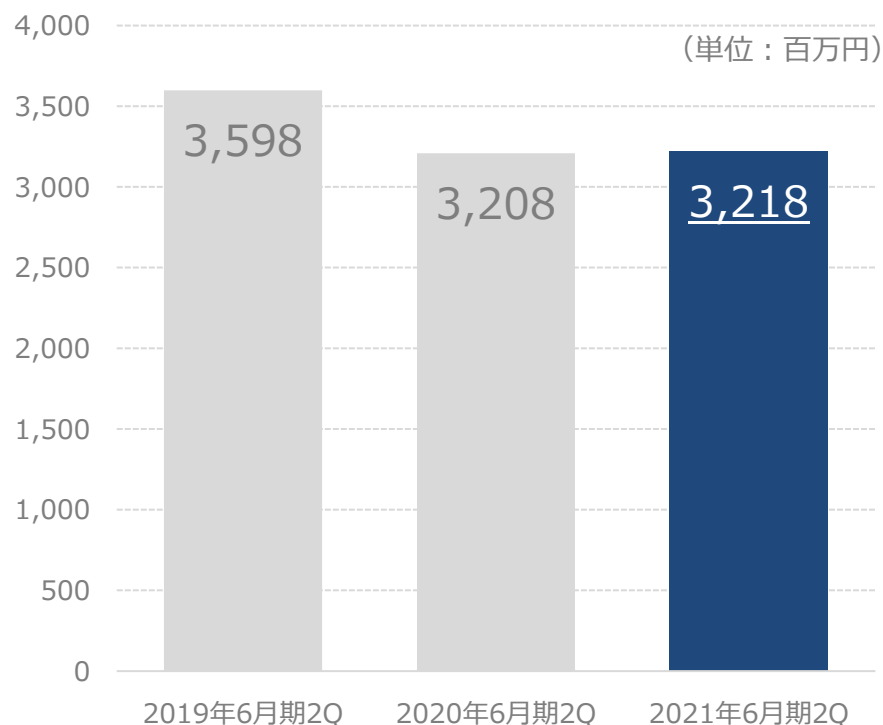
マーケティング&コミュニケーション事業 (1)



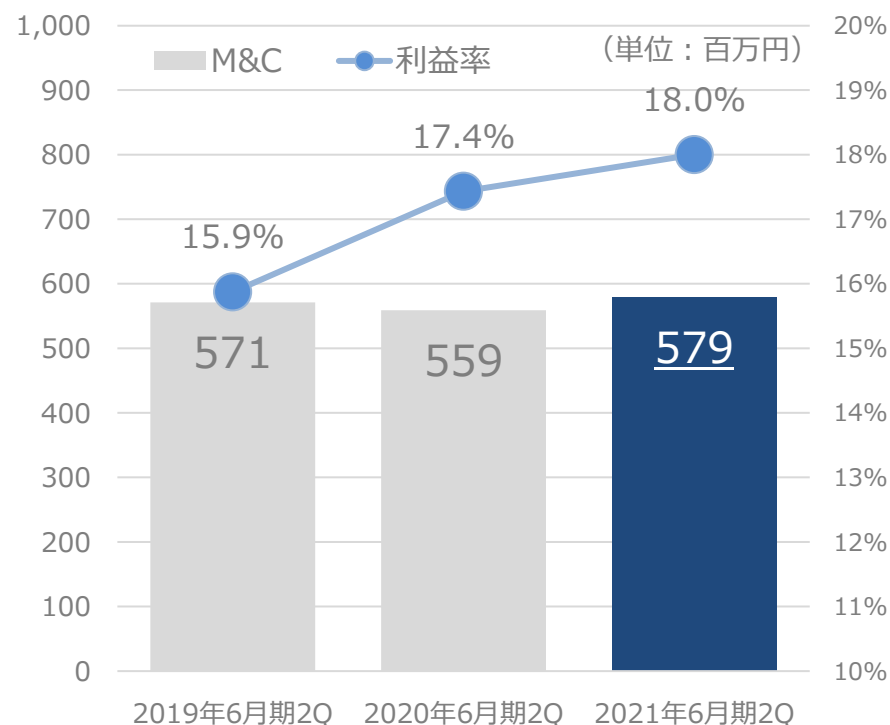
SUNNY SIDE UP
GROUP

基幹事業であるマーケティング&コミュニケーション事業は
コロナ禍においても堅調に成長中

売上高



セグメント利益



新セグメントの内容

- ・ 「スポーツ事業」を当事業に統合。(株)エアサイド（前期までは開発事業）を当事業に区分変更しました。
- ・ (株)サニーサイドアップにおいてコンテンツ関連事業を担っていた部署をセールスアクティベーション事業（旧：SP・MD事業）に区分変更しました。
- ・ セグメント名称を「マーケティング・コミュニケーション事業」から「マーケティング&コミュニケーション事業」に変更しました。

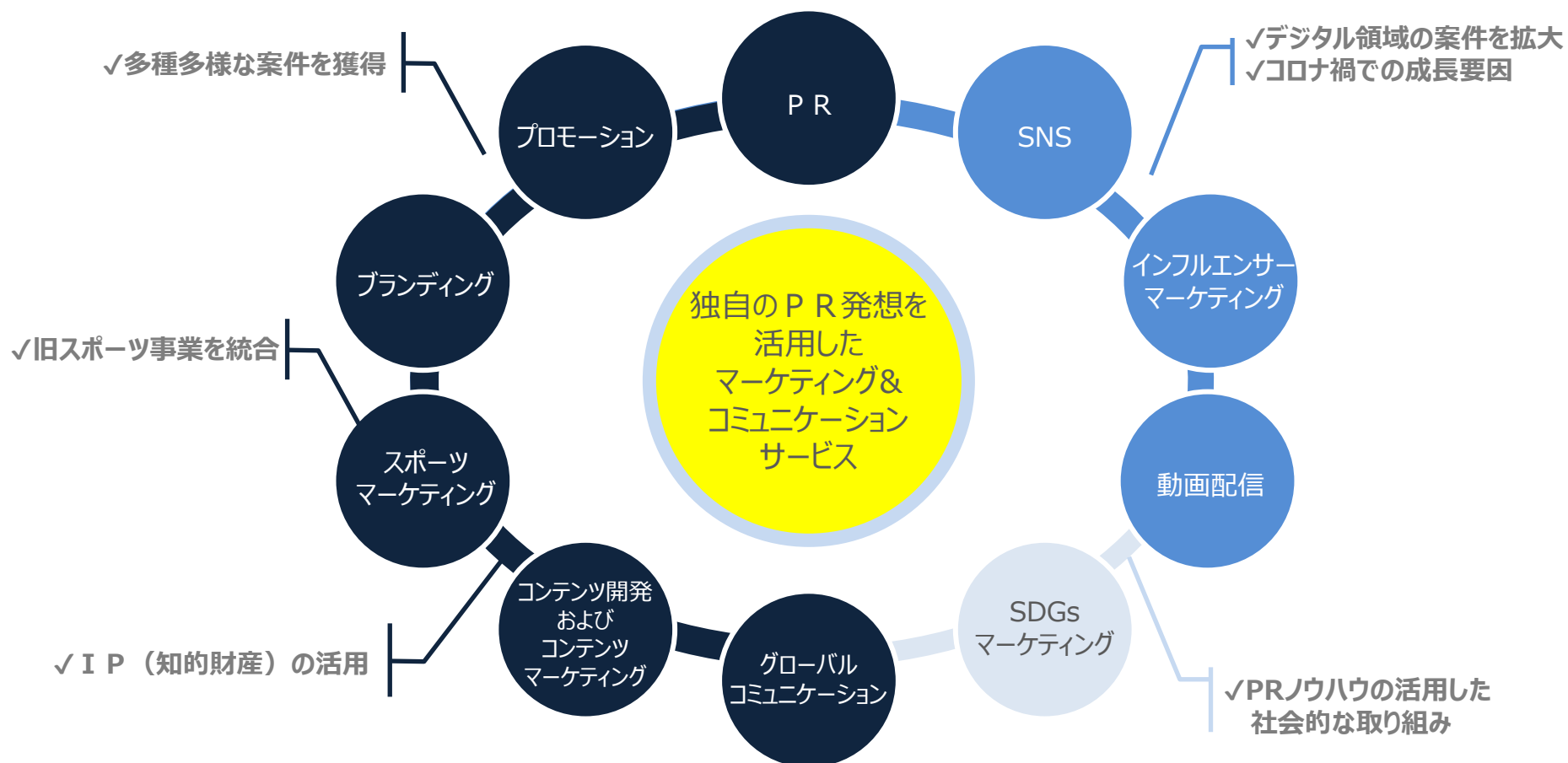
(注) 過年度の業績については新セグメントの区分に組み替えた上で表示しています。

2021年6月期 第2四半期決算補足資料 マーケティング&コミュニケーション事業 (2)



SUNNY SIDE UP
GROUP

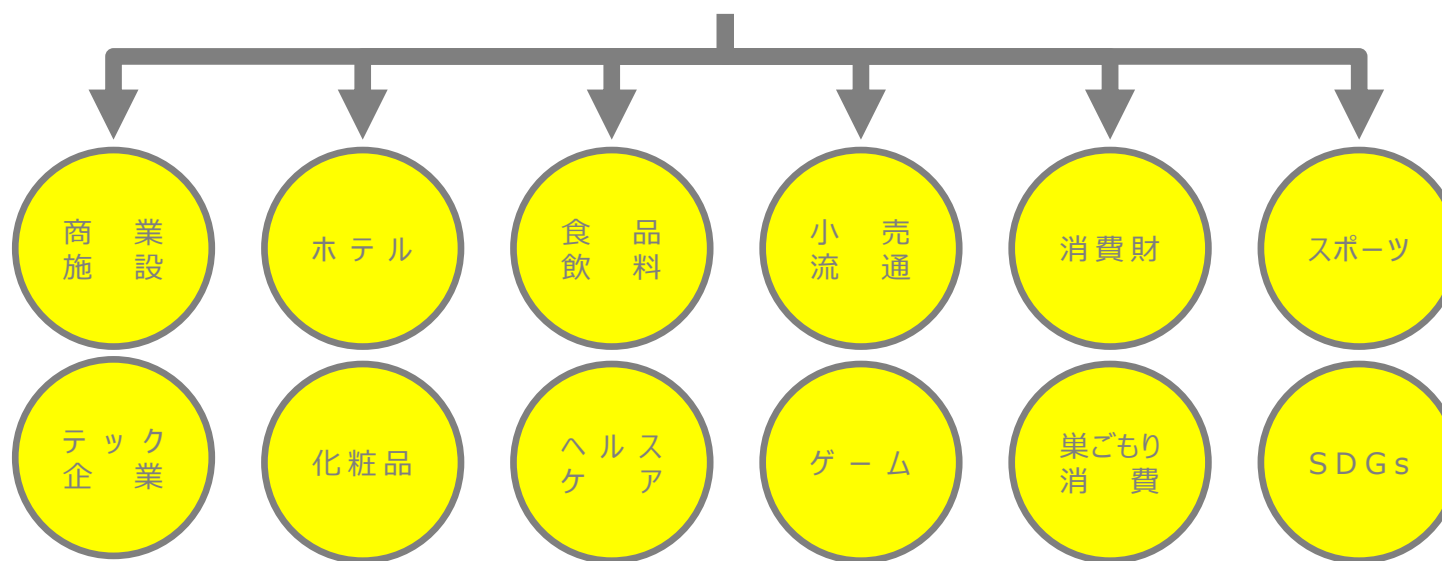
PRを軸としながら、プロモーション、スポーツマーケティング、ブランディング、コンテンツ開発等、時代のニーズに合ったマーケティングおよびコミュニケーションサービスを提供。
コロナ禍にも順応しながら、堅調な成長を継続





各業界・業種におけるPRスペシャリストとして
多種多様な案件を獲得

マーケティング&コミュニケーション事業



広範な領域から成長市場を戦略的にターゲティング
特定のジャンル・クライアントに偏らない顧客ポートフォリオを構築
コロナ禍でも成長を続けるクライアントを獲得

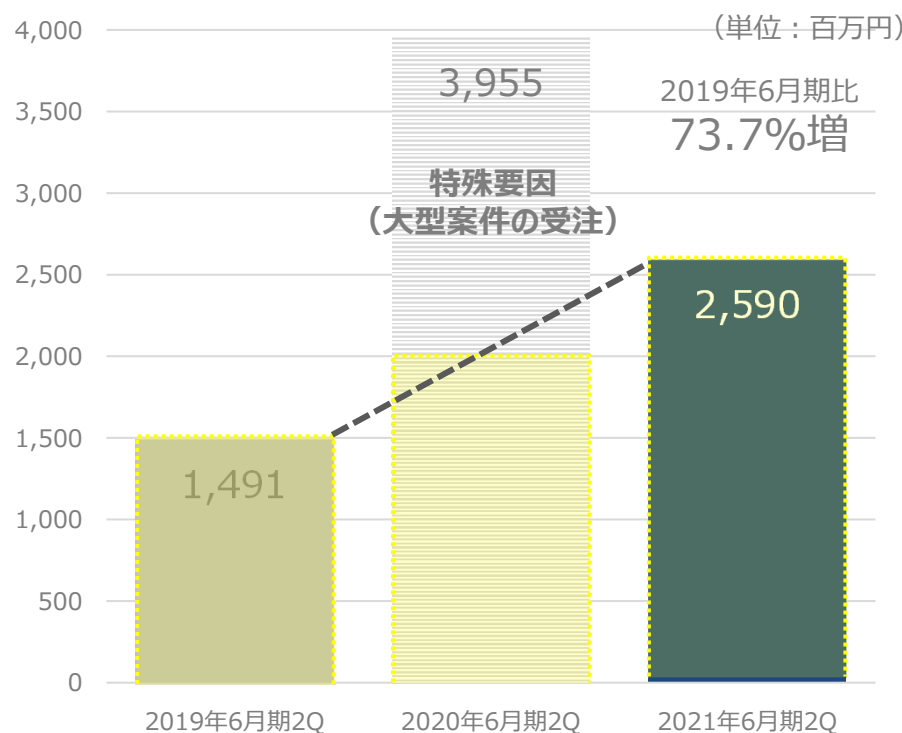
2021年6月期 第2四半期決算補足資料

セールスアクティベーション事業

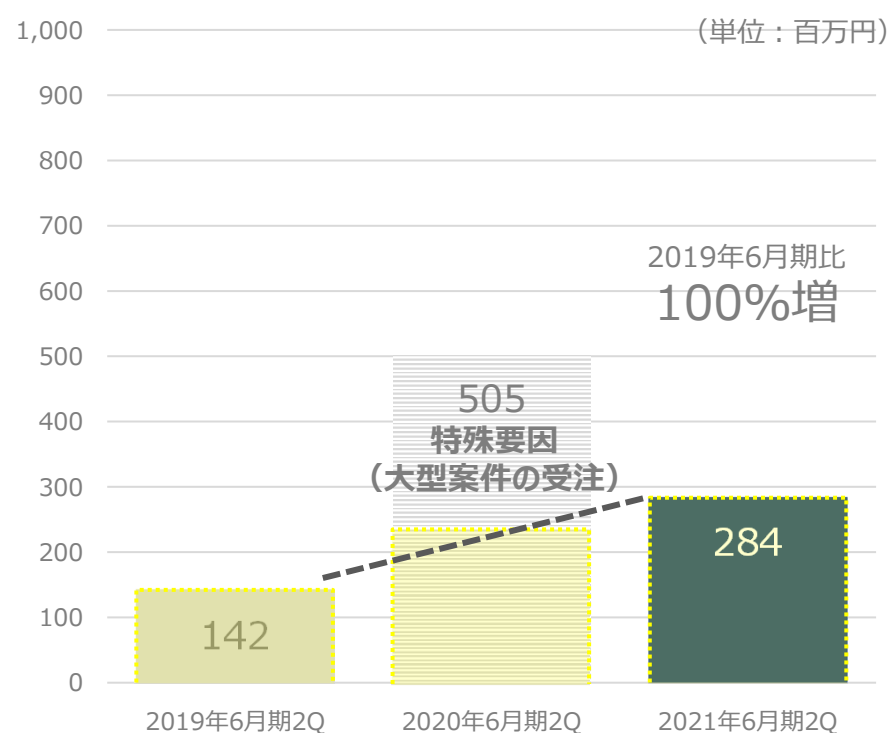


大型規模の受注案件（特殊要因）があった前年同期の実績には届かなかったものの、着実な案件獲得により、2019年6月期の同期実績を大幅に上回る

売上高



セグメント利益



新セグメントの内容

- ・ (株)サニーサイドアップにおいてコンテンツ関連事業を担っていた部署を当事業に区分しました。
- ・ 当事業のビジネス内容をより適切に表すため、セグメント名称を「S・P・M D事業」から変更しました。

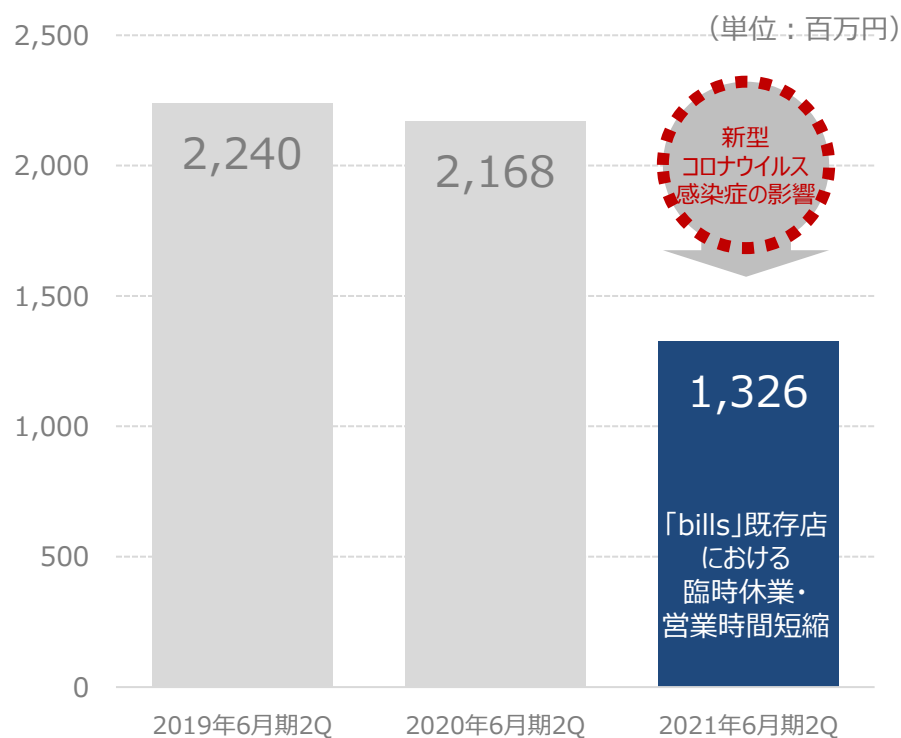
(注) 過年度の業績については新セグメントの区分に組み替えた上で表示しています。

2021年6月期 第2四半期決算補足 フードブランディング事業 (1)

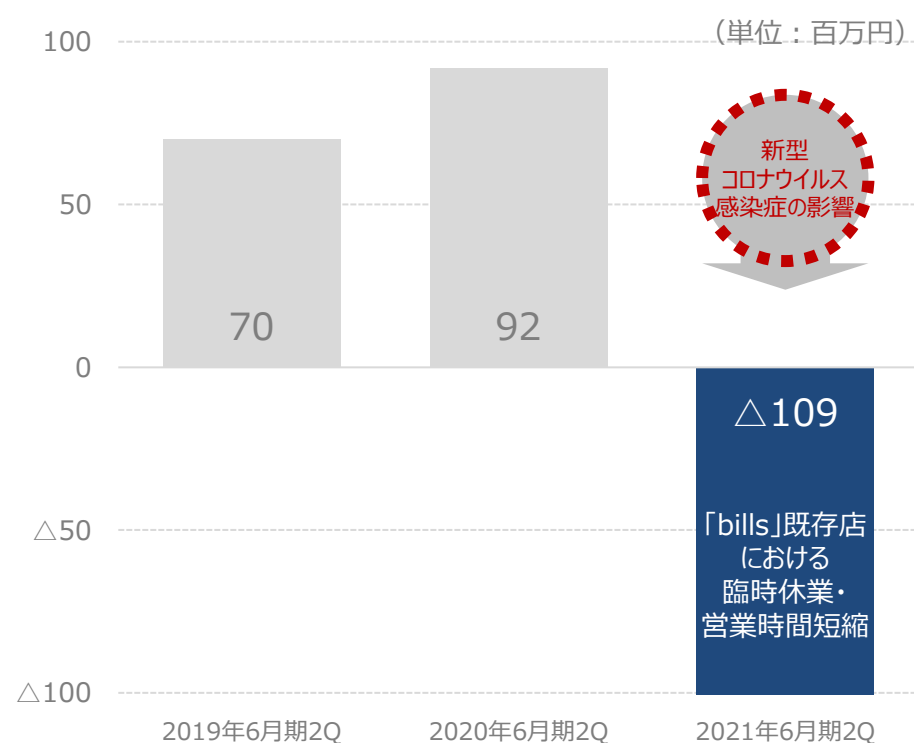


bills waikikiの臨時休業に加えて、その他既存店の時間営業短縮など、新型コロナウイルス感染症による業績への影響が強く、営業赤字を計上

売上高



セグメント利益



新セグメントの内容

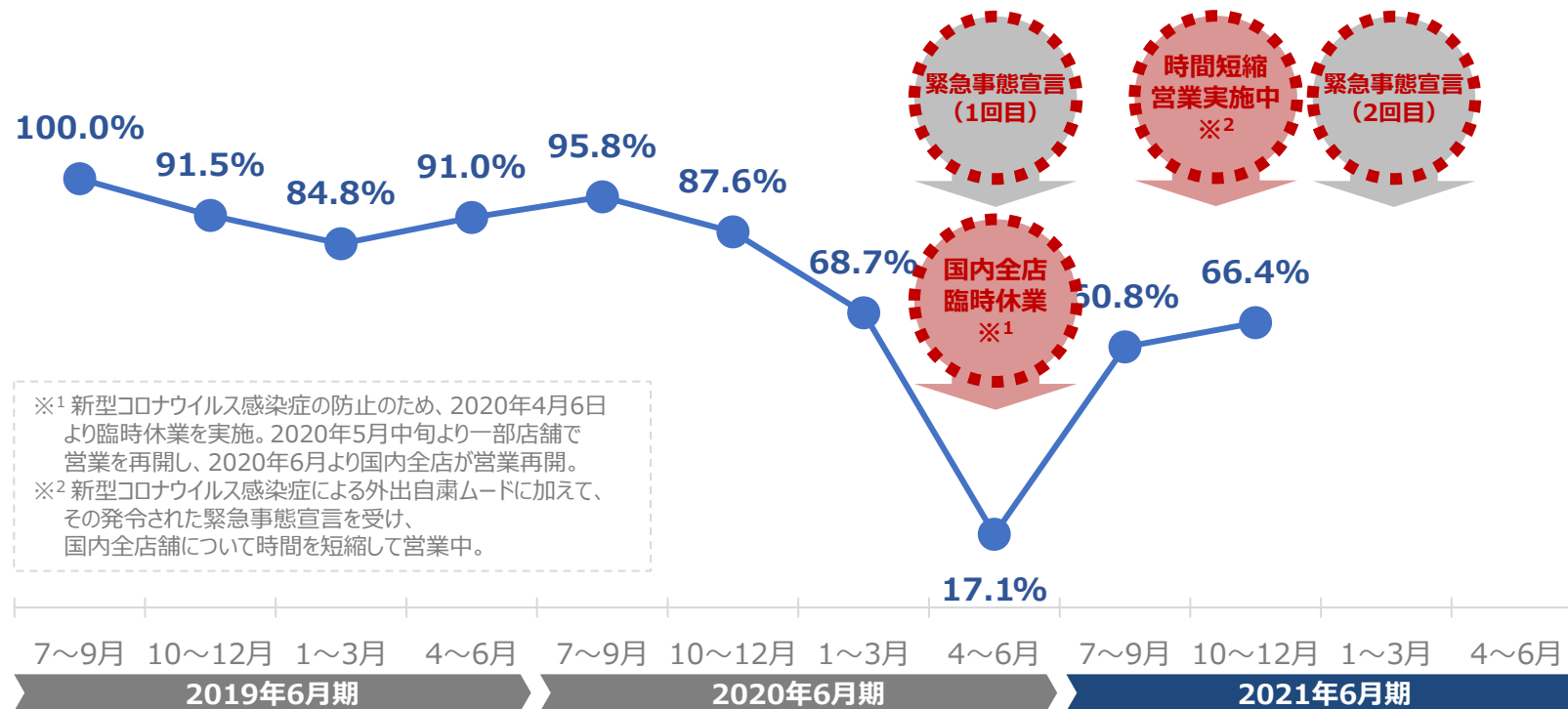
- ・ 「bills事業」を「フードブランディング事業」に名称変更しました。
- ・ セグメントを構成する子会社に変更はありません。

2021年6月期 第2四半期決算補足 フードブランディング事業 (2)



bills (国内店舗) 売上高の四半期毎推移

(四半期毎の売上高について2019年6月期1Q売上高を1として表示)



※¹ 新型コロナウイルス感染症の防止のため、2020年4月6日より臨時休業を実施。2020年5月中旬より一部店舗で営業を再開し、2020年6月より国内全店が営業再開。
 ※² 新型コロナウイルス感染症による外出自粛ムードに加えて、その発令された緊急事態宣言を受け、国内全店舗について時間を短縮して営業中。

新型コロナウイルス感染症による業績へのマイナス影響が発生中

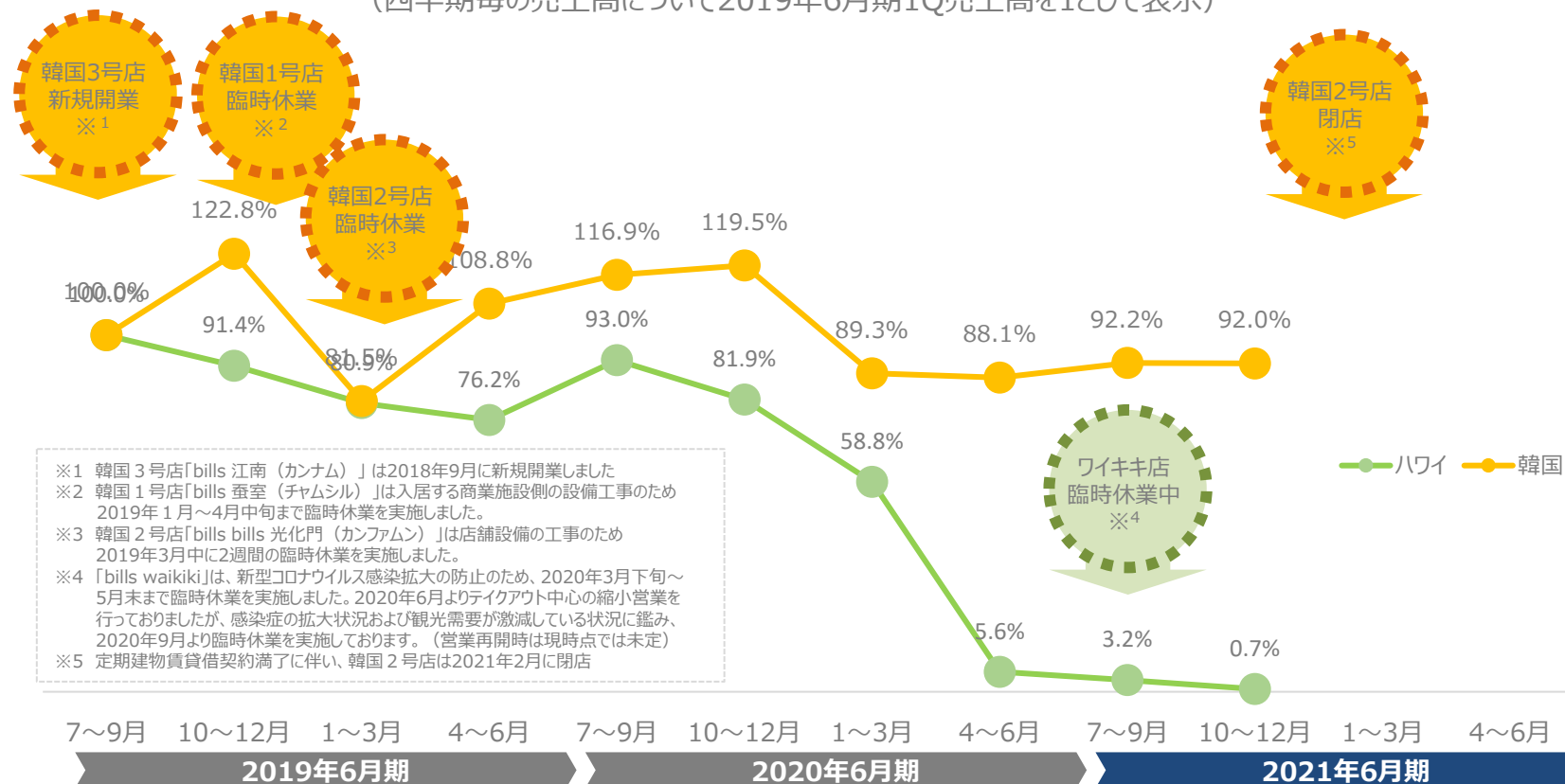
緊急事態宣言解除後の営業再開に伴って集客が回復する兆しを見せていたものの、夏場以降の感染症再拡大による外出自粛ムードに加えて、政府および自治体からの要請等により、店舗の営業時間の短縮を余儀なくされており、客数が前年同期と比べ大きく減少

2021年6月期 第2四半期決算補足 フードブランディング事業 (3)



bills (海外店舗) 売上高の四半期毎推移

(四半期毎の売上高について2019年6月期1Q売上高を1として表示)



- ※1 韓国3号店「bills 江南 (カンナム)」は2018年9月に新規開業しました
- ※2 韓国1号店「bills 蚕室 (チャムシル)」は入居する商業施設側の設備工事のため2019年1月~4月中旬まで臨時休業を実施しました。
- ※3 韓国2号店「bills bills 光化門 (カンファムン)」は店舗設備の工事のため2019年3月中に2週間の臨時休業を実施しました。
- ※4 「bills waikiki」は、新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、2020年3月下旬~5月末まで臨時休業を実施しました。2020年6月よりテイクアウト中心の縮小営業を行っていましたが、感染症の拡大状況および観光需要が激減している状況に鑑み、2020年9月より臨時休業を実施しております。(営業再開時は現時点では未定)
- ※5 定期建物賃貸借契約満了に伴い、韓国2号店は2021年2月に閉店

新型コロナウイルス感染症による業績へのマイナス影響が発生中

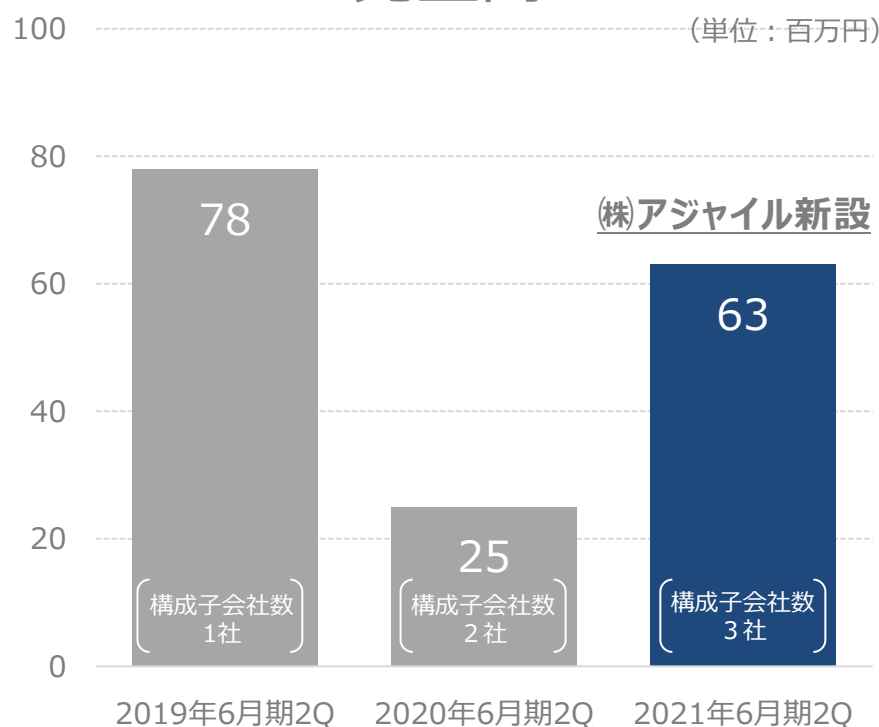
韓国 … 定期建物賃貸借契約の契約期間満了に伴い、韓国2号店については2021年2月14日をもって閉店しました
 ハワイ … 観光客減少による事業環境の変化を受け、2020年9月より臨時休業中。新たな業態への転換も視野に入れながら計画を策定中

2021年6月期 第2四半期決算補足資料 ビジネスディベロップメント事業 (1)

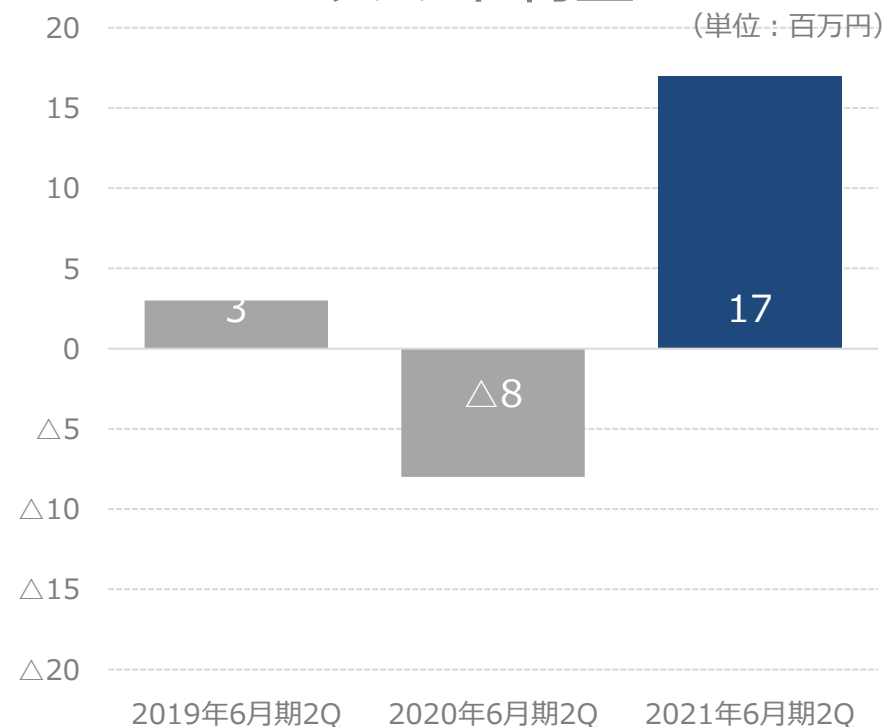


新規事業の開発・創出による当社グループの事業領域の拡大に取り組む
その目的から投資を含めたコストが先行するモデルの中で黒字化を達成

売上高



セグメント利益



新セグメントの内容

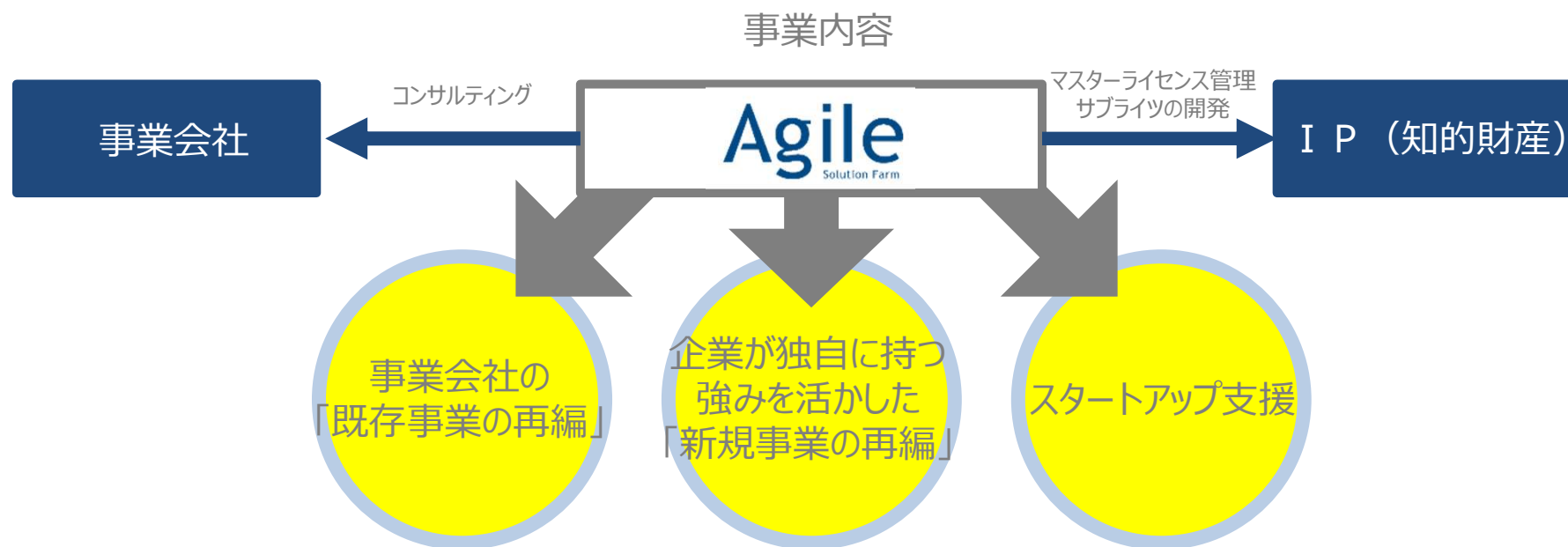
- ・ (株)エアサイドを当事業からマーケティング&コミュニケーション事業に区分変更しました。2020年7月に設立した(株)アジャイルを当事業に区分しました。
- ・ セグメント名称を「開発事業」から「ビジネスディベロップメント事業」に変更しました。

(注) 過年度の業績については新セグメントの区分に組み替えた上で表示しています。

2021年6月期 第2四半期決算補足資料 ビジネスディベロップメント事業 (2)

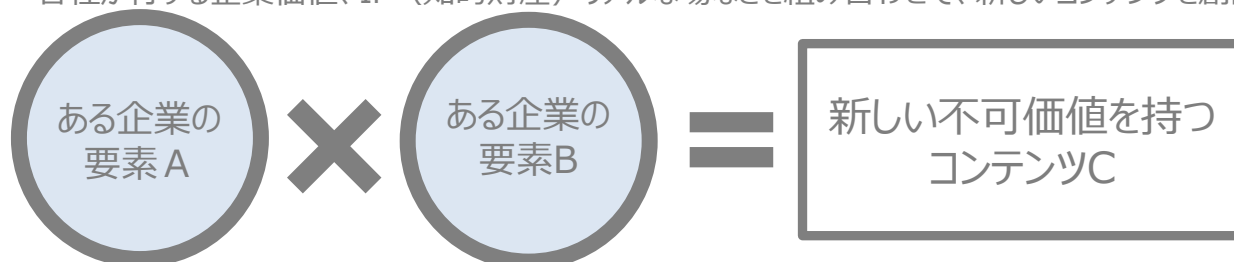


新業態・新商品開発支援会社(株)アジャイルを2020年7月に設立



事業コンセプト

各社が有する企業価値、IP (知的財産) リアルな場などを組み合わせて、新しいコンテンツを創出



- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の予想・予測などは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、事業環境の変化等の様々な要因により、言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあります。

以上、ご承知おきください。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社サニーサイドアップグループ グループ管理本部 経営企画部 TEL : 03-6894-2241 FAX : 03-5413-3052 mail : ir@ssu.co.jp